

●山本県政1年の実績と成果

No.	政策	テーマ	日付	実績
1	重点1 県GDP・県民所得の拡大	新型コロナウイルス対策	R2.4.23	休業要請施設に対する「感染症対策事業継続支援金(20万円)」を発表
2			R2.5.1	新型コロナウイルス感染症対応資金(7年間無利子・無担保)受付開始
3			R2.7.17	「ストップコロナ! 対策認定制度」募集開始
4		農畜産物の分析&PRチーム	R1.12.5	G-アナライズ&PRチーム発足
5			R2.2.19	やよいひめの分析成果発表
6			R2.5.21	ぐんまの豚肉分析成果発表
7			R2.5.29	「やよいひめのヒミツ」動画公開(全5本)
8			R2.6.29	「ぐんまの豚肉シリーズ」動画公開(全6本)
9		新品種の開発	R2.1.16	暑さに強い蚕の新品種「なつこ」発表
10		eスポーツの推進	R1.11.14	県内企業向けeスポーツセミナーの開催
11			R2.4.1	R2年度組織改正において「eスポーツ・新コンテンツ創出課」を新設
12		Gメッセ群馬の活用推進	R2.2.26	Gメッセ群馬プロモーションショートムービーを公開(全6本)
13			R2.6.1	Gメッセ群馬オープン
14		観光振興	R1.12.6	Weibo社と相互協力依頼(アジア初)
15				Weibo社インフルエンサーによる県内視察(1回目:R1.9.27~30、2回目:R1.11.29~12.2)
16		新型コロナウイルス対策	R2.6.5	「愛郷ぐんまプロジェクト~泊まって! 応援キャンペーン~」開始(~7/31)
17		外国人との共生	R1.8.22	「山本知事と外国人住民との座談会」開催
18			R1.11.26	第1回「外国人との新たな共生推進会議」開催(第2回:12/20、第3回:1/21)
19			R2.1.29	多文化共生・共創「群馬モデル」発表
20			R2.2.19	「多文化共生・共創県ぐんま」共同宣言
21			R2.3.18	多文化共生・共創「群馬モデル」策定に対し出入国在留管理庁長官から感謝状受贈
22			令和2年度中	多文化共生・共創推進条例(仮称)制定予定
23	重点2 安心を支える社会基盤整備	医師確保対策推進(DCHP)	R1.9.30	第1回「ドクターズカムホームプロジェクト意見交換会」開催(第2回:12/20)
24			R2.2.6	修学貸与資金の拡充を発表(R2当初予算案)
25			R2.6.2	「ぐんまの臨床研修病院紹介動画」(全14病院)公開
26			R2.6.25	県外医学生が県内病院の見学や採用試験の際の旅費助成を開始

No.	政策		テーマ	日付	実績
27	重点2	安心を支える社会基盤整備	新型コロナウイルス対策	R2.2.4	新型コロナウイルスに対する緊急対策の実施を表明（コールセンターの設置、感染症危機管理チームの設置等）
28				R2.2.4	新型コロナウイルスに関する中小企業等特別相談窓口の設置
29				R2.2.4	医療体制緊急対策会議
30				R2.2.10	新型コロナウイルス感染症対策本部会議（7/22までに15回開催）
31				R2.2.10	感染症危機管理チーム設置
32				R2.2.10	帰国者・接触者外来を設置
33				R2.2.10	帰国者・接触者相談センター開設（各保健所・保健予防課）
34				R2.3.2	新型コロナウイルス感染防止のため、県立学校臨時休業開始
35				R2.3.13	新型コロナウイルス感染症対策に係る金融対策会議開催
36				R2.3.13	第1回「感染症対策産業経済総合支援本部会議」開催
37				R2.3.16	第1回「感染症危機管理チーム会議」開催（5/9までに4回開催）
38				R2.3.26	週末（3月28、29日）の東京への移動自粛要請
39				R2.4.1	新型コロナウイルス感染症コールセンターを開設
40				R2.4.2	学校再開に向けたガイドラインを策定・公表
41				R2.4.5	病院間調整センターの設置
42				R2.4.6	医療用物資確保対策チームの設置
43				R2.4.7	県民向けに行動記録作成のお願い
44				R2.4.7	政府が7都府県に緊急事態宣言を発出したことを受け、県民に不要不急の外出自粛を要請
45				R2.4.7	新型コロナウイルス感染症対策サイト開設
46				R2.4.8	発熱外来1か所目の設置
47				R2.4.10	保健予防課内に「感染症危機管理室」を設置（新型コロナウイルス感染症対策で24名を増員）
48				R2.4.13	オンラインサポート授業の配信開始
49				R2.4.13	県庁舎入口にサーモグラフィセンサーを設置
50				R2.4.16	GTO（群馬テイクアウト応援）プロジェクト開始
51				R2.4.16	政府が緊急事態宣言を全国に拡大
52				R2.4.17	群馬県緊急事態措置の実施（17日～特措法第45条第1項に基づく外出自粛要請、18日～特措法第24条第9項に基づく休業要請。ともに5/6まで）
53				R2.4.20	JR高崎駅でサーモグラフィによる検温と感染拡大防止の啓発活動を実施（～5/29）（東武鉄道館林駅においても同様な取組を実施 4/24～5/29）
54				R2.4.22	高齢者・障害児者施設の入居者及び職員の発熱状況等を報告するシステムを稼働

No.	政策		テーマ	日付	実績
55	重点2	安心を支える社会基盤整備	新型コロナウイルス対策	R2.4.23	感染症危機管理室や保健所クラスター対策要員など52名増員し体制を強化
56				R2.4.27	「自宅のできる運動」動画作成および公開(心臓血管センター)
57				R2.4.28	群馬県緊急事態措置(第2弾)決定(パチンコ店への休業要請、宿泊施設等への休業協力要請など)
58				R2.4.28	軽症者等の宿泊療養施設の運用開始
59				R2.4.28	渋川市、みなかみ町の県管理道路において道路利用者への検温と感染拡大防止の啓発活動を実施(～5/6)
60				R2.4.30	渋川市と陽性患者に関する個人情報の提供及び保護に関する覚書を締結(順次、他市町村とも締結)
61				R2.5.5	群馬県緊急事態措置(第3弾)決定(期限を5/31まで延長など)
62				R2.5.5	西村経済再生担当大臣に緊急要望を実施
63				R2.5.7	オンラインサポート授業を群馬テレビで放送開始(～5/29)
64				R2.5.8	「ありがとう!!ぐんまメディカルスタッフ応援金」発表
65				R2.5.8	医療関係者等応援のため、昭和庁舎をブルーにライトアップ(～5/31)
66				R2.5.11	館林邑楽・富岡地区にPCR検査センターを開設
67				R2.5.11	福祉施設等における感染症対策実施(5/11～専門家派遣、5/13～対策動画公開、5/18～サポートセンター開設)
68				R2.5.14	政府が群馬県を含む39県の緊急事態宣言を解除
69				R2.5.16	経済・社会活動の再開に向けた県独自ガイドラインの運用を開始
70				R2.5.16	警戒度を4から3に引き下げ
71				R2.5.22	県内すべての小中高特支に非接触型体温計を配布(約7,500本)
72				R2.5.25	警戒度を3から2へ引き下げ
73				R2.5.25	「群馬の5日間」開始(100を超える業界団体との覚書締結、発熱状況等報告システム対象拡大、県有施設再開に向けた専門家チームによる検証)
74				R2.5.27	県内の公立私立幼稚園、認定こども園、保育所、放課後児童クラブ等に非接触型体温計を配布(2,000本)
75				R2.5.29	西村経済再生担当大臣に特措法改正を要望
76				R2.6.1	段階的に学校を再開
77				R2.6.1	福祉従事者等応援のため、昭和庁舎をオレンジにライトアップ(～6/14)
78				R2.6.13	警戒度を2から1へ引き下げ
79				R2.6.22	県立学校通常登校再開(29日までに全校で再開)
80				R2.7.7	加藤厚生労働大臣に予算拡充等を要望
81				R2.7.9	藤和の苑集団感染の検証結果を公表
82				R2.7.17	ウィズコロナ時代の観光のあり方検討会」開催

No.	政策	テーマ	日付	実績		
83	重点2	安心を支える社会基盤整備	新型コロナウイルス対策	R2.7.22	LINE「群馬県新型コロナウイルス対策パーソナルサポート」運用開始	
84				R2.8月～	県内産マスクを県民向けに販売	
85			DXの推進・県政のデジタル化推進	R2.4.7	新型コロナウイルス感染症対策サイトの開設	
86				R2.4.22	高齢者・障害児者施設の入居者及び職員の発熱状況等を報告するシステムを稼働	
87				R2.秋頃	マスクなど物資供給などに活用する県民認証システムを稼働	
88				R2.5.27	R2年度中の学校1人1台PCの実現に向けた取組方針を発表	
89				R2.6.30	県立学校ICT環境整備事業(一人一台PC等)公募型プロポーザルを公告	
90			災害対策	R1.10.1	ハツ場ダム試験湛水開始(3/9 試験湛水完了)※ダム本体は3/31に完成、4/1より運用開始	
91				R1.11.26	自然災害における被災者氏名等の公表に関するガイドラインを策定・公表	
92				R1.12.27	気象災害の新たな脅威に対応するため、「群馬・気象災害非常事態」を宣言	
93				R1.12.27	「災害レジリエンスNo.1」の実現に向け、県土整備プランの見直しを行い、集中的、緊急的にハード・ソフトが一体となった防災・減災対策を推進する方針を表明	
94				R2.5月末	利根川・神流川等の堤防の緊急嵩上げ工事完了(令和元年東日本台風)	
95			ぐんま5つのゼロ宣言	R1.12.25	小泉環境大臣を訪問し、『ぐんま5つのゼロ』を宣言	
96				R2.2.26	「ぐんま5つのゼロ宣言実現プラン」の策定	
97			ビジョン、基本計画の作成		R1.10.18	「ぐんまSDGsイニシアティブ」～SDGs先進県に向けた決意宣言～を発信
98			CSF対策	R1.9.5	侵入防止柵設置費補助制度創設(国1/2、県1/4)※ほとんどの市町村で1/4を加算	
99				R1.9.19	江藤農林水産大臣に面会し、全国一律のワクチン接種等を要請	
100				R1.9.24	埼玉県、長野県境に消毒ポイントを設置	
101				R1.10.2	知事が農林水産省担当課長に面会し、対策強化を要請	
102				R1.10.4	CSFについて栃木県知事と対策を協議(テレビ会議) ※以降、茨城県・埼玉県・千葉県知事とはテレビ会議、東京都・神奈川県知事は直接訪問	
103				R1.10.7	県対策本部を設置	
104				R1.10.15	畜産課内に「家畜防疫対策室」を設置(7名を増員)	
105				R1.10.18	藤岡市内で野生イノシシへの経口ワクチン散布を実施	
106	R1.10.27	飼養豚へのワクチン接種開始(1月28日に46万1千頭の初回接種を完了)				
107	R1.11.28	吾妻肉牛繁殖センターにおいて、自衛隊ヘリコプターによる経口ワクチン空中散布実験を実施				
108	R1.12.6	栃木・茨城両県知事と共同で安倍首相にCSF対策強化を要請				
109	R2.2月～3月	鏡川、碓氷川、烏川、利根川の4河川敷及び吉井地区の合計189か所で野生イノシシ向け経口ワクチンを6千個散布				

No.	政策	テーマ	日付	実績
110	重点2	安心を支える社会基盤整備	健康寿命延伸	R2.2.3 第1回「活力ある健康長寿社会実現のための有識者会議」開催(第2回:3/23)
111			防災ヘリコプター	R2.3.25 防災ヘリコプター安全運航管理主監を配置
112			幹線道路整備	R2.6.7 上信自動車道(金井IC～箱島IC)約7.2km開通
113			県立病院改革	R2.6.24 「県立病院の未来を考える有識者会議」の設置
114			クビアカツヤカミキリ対策	令和2年7月～ 全国初の予防対策事業を実施
115			児童虐待対策	R2.3.9 東部児童相談所開所
116				令和2年度中 「児童虐待防止条例」(仮称)制定予定
117			犯罪被害者支援	令和2年度中 「犯罪被害者等支援条例」(仮称)制定予定
118			ネットでの誹謗中傷対策	令和2年度中 「ネットリテラシー推進条例」(仮称)制定予定
119	重点3	移住・定住促進	R1.11.24	有楽町で「オールぐんま暮らし『体験型移住フェア』を開催し、知事トップセールスを実施
120			R2.6.25	オンライン移住相談を開始
121			R2.7.31	ふるさと回帰支援センター35市町村が会員に
122		ぐんまの魅力発信	R2.4.1	eスポーツ・新コンテンツ創出課内に「ロケ誘致推進室」を設置
123			R2.3.6	ぐんまちゃんのアニメーション化着手(公募型プロポーザル公告)
124			R2.5.3	県政広報紙「ぐんま広報」をリニューアル(縦書きを横書きへ、ぐんまちゃん4コマまんが掲載など)
125			R2.5.29	ぐんまちゃん公式twitter運用開始
126		国政経験の活用	R1.9.19	江藤農林水産大臣、河野防衛大臣、菅原経済産業大臣に要望
127			R1.12.6	安倍首相に北関東三県知事で要望(CSF対策)
128			R1.12.23	西村経済再生担当大臣、高市総務大臣に要望
129			R1.12.25	小泉環境大臣、北村地方創生担当大臣に要望
130			R2.2.29	北村地方創生担当大臣に要望(地方創生拠点整備交付金)
131			R2.5.5	西村経済再生担当大臣に要望(新型コロナウイルス対策)
132			R2.5.12	西村経済再生担当大臣に要望(新型コロナウイルス対策)
133			R2.5.29	西村経済再生担当大臣に要望(新型コロナウイルス対策)
134			R2.7.7	加藤厚生労働大臣に要望(新型コロナウイルス対策)
135	R2.7.22	菅官房長官に要望(新型コロナウイルス対策)		

No.	政策		テ ー マ	日 付	実 績	
136	重点3	新たな県民の誇り育成	自治体外交(トップセールス)	R1.9.10	アメリカ・インディアナ州ホルコム知事と会談	
137				R1.11.4	ベトナム訪問(～5日)	
138					民間企業、有力経済人へのトップセールス	
139				自治体間連携	R2.12.9	沖縄県を訪問し、玉城知事と災害対策について意見交換
140				メディアミックスによる発信(動画スタジオの設置等)	R2.3.18	ASK知事!(第1回)
141					R2.4.13	オンラインサポート授業の配信開始
142					R2.4.24	tsulunos稼働開始
143					R2.4.24	Ask知事!(第2回)
144				ぐんまの魅力発信	R1.11.10	県立女子大学生によるInstagramアカウント「【群馬県公認】県女生の日常」開始
145					R2.1.17	関東学園大学生と連携し、Instagramアカウント「太田行政県税事務所」を開始
146					R2.2.26	群響の充実(演奏活動充実、楽団運営改善など)について、高崎市長と共同記者会見
147					R2.3.19	綿貫観音山古墳の出土品が国宝に内定
148					R2.6.1	世界遺産センター「世界を変える生糸(いと)の力」研究所(愛称:セカイト)開所
149					R2.7.22	SNS草の根発信事業「ぐんま応援びと」開始
150				県内の才能あるクリエイターを発掘・育成	R2.3.5	第1回「アートによる地域創造会議」開催(第2回:5/25)
151				県民の幸福度向上	R1.10.30	『群馬の幸福に関する指標』検討チーム発足
152				産学官民連携による新しい行政	R2.1.24～25	JICAと県の若手職員による政策交流会
153					R2.7.1	県庁舎32階カフェ運営事業者選定プロポーザル募集開始
154					R2.8月中	県庁舎32階イノベーションハブ業者選定プロポーザル募集開始
155				大学教育	R1.10.3	県立女子大学で「知事と語り合う地域政策論」開講(～1/30、全15回)
156	重点4	官民連携による行財政改革推進	DXの推進・県政のデジタル化推進	R1.8.14	テレビ会議システム活用開始	
157				R2.4.1	AI議事録作成支援システムを稼働	
158				R2.4.1	R2年度組織改正においてデジタルトランスフォーメーション課を設置	
159				R2.7.17	県民向けオンライン相談の拡充	
160				R2.4月～	ICTを活用した県庁職員の働き方改革(web会議、在宅勤務等)	
161				R2.7月下旬～	県庁業務パソコンをデスクトップPCからノートPCに順次入れ替え	
162					民間人の登用	R1.8.30
163				R2.1.9		CDOの設置
164				R2.5.26		企業管理者に全国唯一の民間人を登用

No.	政策		テーマ	日付	実績		
165	重点4	官民連携による行財政改革推進	金融機関との連携	R2.3.27	群馬銀行、東和銀行、県の3者で「ぐんまの未来共創宣言」を実施		
166				R2.4.1	知事戦略部の設置等、組織の再編・統合を実施		
167					庁議が約2倍に増加(前年同期比)21回→39回		
168				女性活躍	R2.4.1	新年度体制発足。知事部局における女性部長等の増(1人→3人)、女性管理監督職の増(207人→217人)。	
169			市町村との連携		R1.9.4	市町村行脚(CSF対策)	
170					R2.2.19	市長会長・町村会長とともに「多文化共生・共創県ぐんま」を共同宣言	
171					R2.4.6	市町村行脚(学校再開延期要請)	
172					R2.5.19	市町村行脚(1人1台PC整備)	
173						市長会・町村会に6回参加(市長会4回、町村会2回)	
174						市長会・町村会の要望に3回対応(市長会1回、町村会1回、合同1回)	
175			ビジョン、基本計画の作成		R1.10.30	スタートダッシュプランとして、今後1年間に取り組む「全力疾走366プラン」を発表	
176					R1.11.15	第1回新・総合計画策定懇談会	
177					R1.11.27	外部有識者ヒアリング(デービッド・アトキンソン氏)	
178					R1.12.26	外部有識者ヒアリング(武見敬三氏)	
179					R2.1.6	外部有識者ヒアリング(マシ・オカ氏)	
180					R2.1.17	外部有識者ヒアリング(三浦瑠麗氏)	
181					R2.2.7	第2回新・総合計画策定懇談会	
182					R2.2.19	外部有識者ヒアリング(伊藤和真氏)	
183					R2.3.25	外部有識者ヒアリング(安宅和人氏)	
184					R2.5.19	第3回新・総合計画策定懇談会	
185					R2.7.15	地域別懇談会の開催(県内11か所で順次)	
186						県民アンケートや各分野関係団体(76団体)ヒアリングにより県民の意見を集約	
187			重点5	県政の透明化・オープン化	G-SNSチーム	R1.7.1	県公式twitterフォロワー数が約2倍に増加(令和元年7月比) 15257人→33532人
188						R1.8.7	G-SNSチーム発足
189	県民との直接対話の拡大	R2.3.12			知事記者会見に手話通訳を導入		
190					就任後記者会見回数:82回(臨時会見含む) 就任後ブログ投稿件数:609件		
191	県議会との連携					知事答弁の増	
192						議長との県政懇談会	

No.	政策		テーマ	日付	実績
193	重点5	県政の透明化・オープン化	熟慮断行チーム	R1.10.23	「熟慮断行チーム」発足
194				R2.2.6	県有の10施設について今後のあり方を検討する方針を発表
195			財政の透明性・規律の強化	R1.10.18	中期財政見通しの作成
196					事業見直し: △13.6億円 財政調整基金の積み増し: 前年度比+37億円
197				R2.1.15	内部統制弁護士チーム設置・運用開始
198				R2.3.25	内部統制推進・評価会議の開催
199			庁内議論の活性化	R1.9.5	「自我作古チーム」発足
200				R1.10.8	「政策プレゼン」報告会
201				R1.11.21	「自我作古チーム」報告会(第1回)
202				R1.12.24	「自我作古チーム」報告会(第2回)
203			直滑降ストリーム	R1.8.19	第1回ゲスト: 菅官房長官
204				R2.6.5	第2回ゲスト: 西村経済再生担当大臣
205				R2.6.12	第3回ゲスト: 河野防衛大臣
206				R2.6.19	第4回ゲスト: 山本前橋市長
207				R2.6.26	第5回ゲスト: 高市総務大臣
208				R2.7.3	第6回ゲスト: 黒岩草津町長
209				R2.7.9	第7回ゲスト: 阿久澤群馬クレインサンダーズ社長
210				R2.7.16	第8回ゲスト: 富岡高崎市長、宮下所長(ローリングストーンズの世界)
211				R2.7.21	第9回ゲスト: 三木谷楽天会長、北角主幹(気象予報士)